

バドミントン 3ゲーム×15点制 早見表

21点制との違い／デュース・インターバル／いつから — 大会前の確認用 A4・1枚

TakeoriLab

バドシート

無料配布・登録不要

1ゲーム
15点

先取（2ゲーム先取）

デュース開始
14-14

2点差がつくまで

上限
21点

20-20で次の1点

インターバル
／エンド交代
8点

60秒・最終ゲーム

① 21点制と何が変わる？（変わるのは点数まわりの数字だけ）

項目	現行：21点制	新：15点制（3ゲーム×15点）
1ゲームの先取点	21点	15点
デュース開始	20対20	14対14
上限（ゴールデンポイント）	30点（29対29で次の1点）	21点（20対20で次の1点）
ゲーム中インターバル（60秒）	どちらかが11点	どちらかが8点
最終ゲームのエンド交代	11点	8点
試合形式	2ゲーム先取・3ゲームマッチ = 変わらない	
ゲーム間インターバル	約120秒 = 変わらない	

② 変わらないもの

- ・ 2ゲーム先取・3ゲームマッチという試合の形
- ・ コート・ネットの寸法
- ・ サーブのルール（高さ・立ち位置・サービスコート）
- ・ フォルト、レットの扱い
- ・ ラリーポイント制（ラリーに勝った側に1点）
- ・ デュースは「2点差で勝ち・上限で決着」の仕組み

③ 15点制になると効いてくること

- ・ 1ゲームが短い＝序盤の入りがこれまで以上に大事
- ・ 離されてからの挽回の余地が小さい
- ・ 8点インターバルまでにリードする組み立て
- ・ ミスを減らして先行する展開づくり
- ・ 練習でも15点のゲーム形式に慣れておく

④ いつから？（国際と日本でちがいます）

対象	時期	方式
国際大会（BWF）	2027年1月4日から	3ゲーム×15点制へ全面移行
日本・2026年の主要第1種大会	2026年から先行	全日本総合／社会人／シニア／ジュニア、国民スポーツ大会、スポーツマスターズ、S/リーグⅠ・Ⅱ・Ⅲ ほか＝15点制
日本・2026年の一部大会	当面	日本ランキングサーキット大会などは21点制のまま
日本・2027年1月以降	2027年～	すべての第1種大会で15点制

⚠ 大会前に必ず確認：2026～2027年は大会によって21点制と15点制が混在します。出場する大会がどちらの方式かは、思い込みず大会の実施要項で確認してください。地域予選やローカル大会は移行のタイミングが異なる場合があります。規則改訂までの経過措置として、日本では『BAJルールブック2026』の「代替スコアリングシステム（1ゲーム15点・2ゲーム先取の3ゲームマッチ）」が適用されます。

この早見表は、バドミントンのスコア記録・分析アプリ「バドシート」を運営する TakeoriLab が作成した無料配布資料です。印刷・チーム内での配布は自由です。

ルール改正の内容・適用時期は大会区分や団体により異なる場合があります。公式戦では日本バドミントン協会（JBA）の最新規則・ルールブック、および大会の実施要項・主催者／審判長の指示を必ずご確認ください。

解説とスコアシートは

takeorilab.ybcjr.com/15points/